

## 「学校で起きうる法律問題～学校事故から働き方改革まで～」

清水法律事務所 弁護士 清水 幹裕 氏

先生方が「良識をきたえる」、そして子供達に「よくないことをきちんと『よくない』と伝えること」は、学校の崇高な権利であり使命である。  
便利で豊かになったこの国の新しい世代に、我慢、規律、思いやりの大切さを、教育で伝えていってほしい。先生方には、元気で澁刺と教育に携わっていただいて、大人に感動をくれる子供達を育ててください。  
日本の将来は、教育にかかっています。

清水法律事務所

弁護士 清水 幹裕 氏



### ●塾生の声

・危機管理をしていくうえでの基本として、良識で物事を考えていくことの大切さを改めて感じました。また、教師として教えることのプロフェッショナルとなった以上、それは初任者だろうがベテランだろうが同じ扱いを受けること、そのため若手教員の人材育成をしていく際には教えることのプロフェッショナルであることを意識することをしっかりと伝えていきたい。

## 企画運営研修「開」第4回のテーマは「理想の学校の実現に向けた具体的実践の共創」です

『理想の学校を実現するための具体的取組について、「実現可能か」、「効果があるか」等を精査し、同校種・異校種で熟議を深め、次回の発表へ向けて構想を練りました。』



### ●塾生の声

・受講前は、理想の学校を漠然と描いていましたが、そのための取組を考え交流することで、自分の考えが更に広がったと思います。またその取組が、「実現可能であるか」「効果があるか」と整理することで、実現していく具体的な道筋が見えてきて、「実現できる」という意識が芽生え、目標(理想の学校)がさらに明確になったと感じています。  
・今回理想の学校を実現するための取組を考えたことで、目指す姿がより具体化してきました。特に、異校種との交流で、自分のものの見方とは異なる視点での考え方に触れることで、目指す学校像や取組内容がより具体化してきました。最初は付箋の数も、内容も、偏ったものでしたが、学習の場だけでなく、経営という視点での付箋を増やすことができました。子どもに対する取組と、教師に対する取組の2つ視点から取組内容を整理して、次回の発表に向けて準備をしていきたいと考えています。